資料２

本道立地決定までの経過

	ラピダス（株）	道
Ｒ４ １１／１１	次世代半導体の製造基板の確立に向けた 国の研究開発プロジェクトに採択	情報収集等
	多くの地域より立地要請	↓
Ｒ５ ２／１６		知事がラピダス（株）を訪問し、 社長に本道立地を要請
２／２８	社長が来庁し、 知事に北海道千歳市への立地を表明	
	「ほっかいどう応援団会議」参加	

立地要請（２／１６）

立地表明（２／２８）

ほっかいどう応援団会議
参加（２／２８）

2023 年 2 月 28 日

報道機関各位

Rapidus 株式会社

Rapidus、最先端半導体工場の建設予定地として、北海道千歳市を選定

Rapidus 株式会社（本 社：東京都千代田区麹町 4 丁目 1 番地、代表取締役社長：小池淳義）は、新たに建設する最先端半導体工場の建設予定地として、北海道千歳市を選定することを決めました。
今後、政府の予算承認を経て、具体的な準備を始めます。

Rapidus は、昨年 12 月に IBM との共同開発パートナーシップ締結を発表しました。これに基づき IBM の画期的な 2 ナノメートル（nm）ノード技術のさらなる開発を共同で推進して、今回決定した製造拠点に導入していきます。

工場は、2025 年に試作ライン、2020 年代後半に量産ラインを立ち上げることを目標としています。

代表取締役社長の小池淳義は、「北海道千歳市は、水、電力等のインフラに加えて、自然環境との調和においても、半導体の生産に最適であり、また、研究者や工場で働く従業員にとっても、充実した生活を営んでもらえる環境が整っている。グローバルでの人材交流やエコシステムの発展等、中長期的なポテンシャルがある点を踏まえ、工場の予定地として選ばせていただいた。今後、政府による計画や予算の承認を経て、具体的に千歳市とも話し合いを始めていきたい。」と述べています。

Rapidus 株式会社について
本社：東京都千代田区麹町 4 丁目 1 番地
設立：2022 年 8 月 10 日
経営陣：取締役会長 東哲郎、代表取締役社長 小池淳義
事業内容：半導体素子、集積回路等の電子部品の研究、開発、設計、製造及び販売等
資本金等：73 億 4,600 万円（2022 年 11 月時点。資本準備金の額を含む。）

〈報道関係者の問い合わせ先〉
クレアブ株式会社
安江邦彦 kyasue@kreab.com TEL070-1356-2500
奥本孝乃 tokumoto@kreab.com TEL070-4272-0745
高橋茜 atakahashi@kreab.com TEL090-1698-4359

令和５年２月２８日、Rapidus 社が、北海道千歳市に
世界最先端・最高水準の半導体製造拠点の立地を表明

立地表明に係る知事コメント

令和５年２月２８日（火）

この度、Ｒａｐｉｄｕｓ株式会社が、最先端半導体工場の建設予定地として、北海道千歳市を選定することを決定されました。

今月１６日、私から小池社長に対して本道への立地を要請したところ、本道の立地優位性や道の政策、さらには熱意を評価いただき、北海道への立地を早急にご英断いただきました。

東会長、小池社長をはじめ関係者の皆様に深く感謝申し上げます。また、この決定を契機に、北海道に貢献していきたいとのご意向により、「ほっかいどう応援団会議」への参加もいただき、重ねて感謝申し上げます。

Ｒａｐｉｄｕｓ株式会社が技術開発・量産製造を目指す最先端半導体は、量子、ＡＩなどを含むさまざまな分野で大きなイノベーションをもたらし、我が国の半導体産業の再興・発展、デジタル化や、本道の「ゼロカーボン北海道」と我が国のカーボンニュートラル、更には経済安全保障の鍵となる極めて重要な中核技術です。

また、製造に加え、研究、人材育成等が一体となった複合拠点の立地の実現により、道が振興してきた、ものづくり・デジタル産業の飛躍はもとより、世界中から研究者や技術者が集うデジタル人材拠点の形成につながることが期待できます。

道としては、「メイドイン北海道」の世界最先端・最高水準の技術を世界に届け、研究開発や人材育成など、最先端半導体の中心的な拠点整備が、本道において円滑に進められるよう、国や千歳市とも密接に連携してまいります。

北海道知事　鈴木直道

千歳美々ワールドの概要（千歳市）

【周辺図】

【特徴】

新千歳空港まで４キロメートルと近く、ものづくりや ICT などの最先端技術を学ぶ公立千歳科学技術大学が近接。研究開発型企業の立地に最適。